

# 地域県土警察常任委員会資料

(令和6年6月13日)

ページ

- 鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッションの実施に向けた進捗状況について  
【交通政策課】・・・2
- 国際観光誘客に関する最近のトピックについて  
【国際観光課】・・・3
- 鳥取県江原特別自治道友好交流30周年記念事業「日韓ウォーキング交流」及び  
江原特別自治道経済副知事来県について  
【交流推進課】・・・4

輝く鳥取創造本部

# 鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッションの実施に向けた進捗状況について

令和6年6月13日  
交 通 政 策 課

鳥取砂丘コナン空港の第2期コンセッション（以下「第2期事業」）では、「鳥取県営鳥取空港の設置及び管理に関する条例」に基づき、選定事業者を公募の方法によって選定することを予定しています。

公募によって選定された選定事業者は、現在の運営権者である鳥取空港ビル(株)の全ての株式を取得することによって第2期事業の運営権者（以下「第2期運営権者」）となることから、現在、鳥取空港ビル(株)の株式譲渡に向けた手続きを進めていますので、その進捗状況を報告します。

## 1 鳥取空港ビル(株)の株式譲渡に向けた手続きの進捗状況

鳥取空港ビル(株)では、令和6年5月29日に開催された取締役会において、令和7年度に優先交渉権者の選定・公表、基本協定の締結が完了し、特別目的会社（SPC）が設立された後、速やかに取締役会において優先交渉権者への株式譲渡を承認する決議を行う予定であることが承認された。

これを受け、県は、令和6年6月10日鳥取空港ビル(株)の各株主との間で鳥取空港ビル(株)株式譲渡予約契約を締結した。

### 【参考1】鳥取空港ビル(株)の株式譲渡に必要となる手続き

実施契約を締結した第2期運営権者は、次の方法によって、事業開始日までに全ての鳥取空港ビル(株)株式をその株主（以下「鳥取空港ビル(株)株主」）から譲り受ける。

- 鳥取空港ビル(株)株式譲渡予約契約の締結

県は、県以外の全ての鳥取空港ビル(株)株主との間で、鳥取空港ビル(株)株式譲渡予約契約を締結する。これによって、①県以外の全ての鳥取空港ビル(株)株主から、鳥取空港ビル(株)株式の県への譲渡を予約すること及び②第2期運営権者に対して鳥取空港ビル(株)株式の譲渡予約完結権を含む県の地位を譲渡することに係る合意を得る。

また、県は、第2期運営権者によるSPCの設立後から事業開始日までに、鳥取空港ビル(株)株式譲渡予約契約上の地位を第2期運営権者に譲渡する。

- 県が保有する鳥取空港ビル(株)株式に関する株式譲渡契約の締結

県が保有する鳥取空港ビル(株)株式について、県は第2期運営権者との間で、SPC設立後から事業開始日までに、鳥取空港ビル(株)株式譲渡契約を締結する。

- 第2期運営権者による鳥取空港ビル(株)株式の取得

第2期運営権者は、鳥取空港ビル(株)株式譲渡予約契約に基づき、県から譲り受けた予約完結権を行使し、事業開始日までに、県以外の全ての鳥取空港ビル(株)株主が保有する全株式を取得する。また、第2期運営権者は、県と締結する鳥取空港ビル(株)株式譲渡契約に基づき、県が保有する全株式を取得する。

### 【参考2】鳥取空港ビル(株)の従業員等

株式譲受によることから、鳥取空港ビル(株)の従業員及び鳥取空港ビル(株)が締結している契約等については、特段の事情がない限り承継される。

## 2 第2期事業開始までのスケジュール（予定）

年 度	主な内容
令和6年度	● 実施方針の策定・公表（夏期）、特定事業の選定、募集要項等の策定・公表（冬期）
令和7年度	● 優先交渉権者の選定・公表、基本協定の締結、特別目的会社（SPC）設立（秋期） ● 運営権設定及び債務負担行為に係る議会への附議（2月議会）
令和8年度	● 実施契約の締結・公表（春期）、業務引継期間（約1年間）
令和9年度	● 第2期事業開始（4月～）

# 国際観光誘客に関する最近のトピックについて

令和6年6月13日  
国際観光課

インバウンド回復の動きが本格化している中、外国人観光客誘致拡大を図っていくための最近の主なトピックを次のとおり報告します。

## 1 国際定期フェリー試験就航に伴う視察ツアーの実施

8月のイースタンドリーム号の正式就航に向けた旅行商品の造成や山陰の魅力発信を目的に、試験運航に併せて韓国から旅行社及びメディアを招聘し、山陰両県を巡る視察ツアー及び観光事業者との商談会を実施しました。

### 【視察ツアーの概要】

- (1) 期 間 5月26日(日)～29日(水)
- (2) 参加者 計21社・・・旅行社15社、メディア・インフルエンサー6社
- (3) 主な視察先 大山寺参道、とっとり花回廊、青山剛昌ふるさと館、白壁土蔵群・赤瓦、水木しげる記念館・ロード、弓ヶ浜サイクリング、足立美術館、松江城、由志園

### 【山陰観光事業者との商談会】

- (1) 開催日 5月26日(日)
- (2) 場 所 米子ワシントンホテルプラザ
- (3) 参加者 韓国側旅行社15社、山陰側事業者19社

#### 【韓国側旅行社のコメント】

- ・施設や食事など素晴らしかったし、新たな発見があった。
- ・具体的な商品造成のために、再度視察ツアーとして訪れたい。

#### 【山陰側事業者のコメント】

- ・決定権のある旅行会社のキーパーソンに対してしっかりセールスができた。
- ・旅行会社が帰国後、早速商品造成の具体的な提案があった。



商談会の様子

## 2 「2025日台観光サミット in 鳥取」開催の正式決定

5月31日(金)に台湾高雄市で開催された「2024日台観光サミット in 高雄」において、同サミットの次回開催地が鳥取県に決定しました。

会議では来年の開催地について、主催者である日台観光推進協議会会長から鳥取県での開催が推薦され、満場一致で決定しました。これを受けて、亀井副知事が鳥取県の自然、食、文化など様々な魅力を紹介し、本県ならではのおもてなしで精一杯皆様をお迎えする旨、宣言しました。

また、同サミットでは、台湾と日本における緊密な連携と持続可能な観光の実現を目指し、相互交流人口が700万人を超えるよう促進すること等を目標に掲げた「高雄宣言」を採択しました。



亀井副知事による宣言

### 【「2025日台観光サミット in 鳥取」開催概要】

- (1) 目的 日本と台湾双方の観光交流の促進、相互交流人口の拡大
- (2) 時期 2025(令和7)年5月頃
- (3) 場所 米子市(予定)
- (4) 参加者 250名程度

(台湾側) 台湾交通部観光局、台湾観光協会、台湾日本関係協会、航空会社、大手旅行会社、台湾現地新聞社・テレビ局 など100名程度

(日本側) 観光庁、日本政府観光局、日本台湾交流協会、航空会社、大手旅行会社、日本旅行業協会、日本観光振興協会 など150名程度

## 3 ㈱エイチ・アイ・エスとのインバウンド観光推進に関する協定の締結

鳥取県と株式会社エイチ・アイ・エス(以下「HIS」)は、令和元年5月24日にインバウンド観光推進に関する協定を締結しておりますが、この度、コロナ後におけるプロモーションの対象地域をアメリカ、カナダ、ヨーロッパ等にも拡大し、大阪・関西万博を契機とした本県への旅行商品の造成を含め訪日観光需要の獲得に連携して取り組んでいくことを目的に、新たに協定を締結しました。

- (1) 締結日 6月5日(水)
- (2) 場 所 SAND BOX TOTTORI
- (3) 調印者  
[HIS] 代表取締役社長 矢田 素史(やだ もとし)氏  
[鳥取県] 鳥取県知事 平井 伸治
- (4) 協定に基づく主な取組  
海外における鳥取県のブランド力向上、海外共同プロモーションなど



協定締結式の様子

## 鳥取県江原特別自治道友好交流30周年記念事業「日韓ウォーキング交流」及び 江原特別自治道経済副知事来県について

令和6年6月13日  
交流推進課  
中部総合事務所県民福祉局

鳥取県江原特別自治道友好交流30周年記念事業として江原特別自治道原州（ウォンジュ）市の学生と鳥取県内の学生がウォーキング交流を行い、友好交流30周年を祝うとともに、更なる交流促進を約束しました。また、同事業の一環で来県された江原特別自治道の鄭光烈（チョン・グァンヨル）経済副知事が亀井副知事と面談し、友好交流30周年を迎える両県道の今後の更なる交流の促進等について協議を行いましたので、次のとおり報告します。

### 1 鳥取県江原特別自治道友好交流30周年記念事業「日韓ウォーキング交流」

(1) 日 時 令和6年5月31日（金）～6月2日（日）

(2) 場 所 倉吉市

(3) 来県者

○江原特別自治道庁

鄭光烈（チョン・グァンヨル）経済副知事 他4名

○ウォーキング交流団

・江原特別自治道原州市の学生等13名（団長1名、学生10名、随員2名）

団長 原州市自治行政課長 朴 泰奉（パク・テボン）

学生 漢拏（ハルラ）大学5名、尚志（サンジ）大学5名

・鳥取県の学生10名（鳥取看護大学5名、鳥取短期大学1名、倉吉東高4名）

### (4) 内 容

期日	内 容	
5月31日 （金）	○米子ソウル便で来県 ○歓迎レセプションの実施（ホテルセントパレス倉吉） <出席者> 江原特別自治道 鄭 光烈（チョン・グァンヨル）経済副知事ほか 大韓ウォーキング連盟 李 康玉（イ・ガンオク）会長ほか 認定NPO法人未来 岸田 寛昭理事長ほか SUN-IN 未来ウォーク 山田 修平大会長 倉吉市 広田 一恭市長 鳥取県訪問団 木本 美喜団長（中部総合事務所長）ほか 原州市訪問団 朴 泰奉（パク・テボン）団長ほか	
	ウォーキング交流団	江原特別自治道経済副知事団
6月1日 （土）	○第23回 SUN-IN 未来ウォーク 10km：美術館まち歩きコースに参加 ○倉吉線廃線跡のウォーキング、三徳山遥 拝所で投入堂観覧など	○第23回 SUN-IN 未来ウォーク 10km：美術館まち歩きコースに参加 ○大江の郷視察
6月2日 （日）	○青山剛昌ふるさと館観覧など ○米子ソウル便で帰国	○亀井副知事との面談・昼食会 ○米子ソウル便で帰国

- ・チョン経済副知事には、レセプション及びSUN-IN 未来ウォーク出発式において「ウォーキング大会をきっかけに両地域の交流がさらに深まることを祈ります。頑張りましょう。」と日本語を交えながらご挨拶いただいた。
- ・レセプションの中で、学生が相手国の言語で自己紹介を行ったほか、相席のテーブルで翻訳アプリ等を活用し積極的に交流を行っていた。
- ・ウォーキングでは、両県道の学生が自然にグループとなり、お互いに流行している芸能人やドラマ等の話題で盛り上がっていた。
- ・学生は、相手側との交流をもっと深められるよう相手側言語を双方とも積極的に学習することを約束し、今年秋の再会を楽しみに帰路に就いた。
- ・チョン経済副知事も10kmコースに参加され、2時間で踏破された。



ウォーキング大会参加の様子

(5) 今後の予定

10月26～27日に江原特別自治道原州市で開催される原州国際ツーデーウォークに鳥取県訪問団（団長1名、通訳等2名、学生10名）を派遣し、ウォーキング等の交流を行う。

(6) その他参考

- ・原州国際ツーデーウォークは、大韓ウォーキング連盟主催大会。
- ・NPO法人未来と大韓ウォーキング連盟の交流は、本年度で20周年を迎えた。

2 両県道副知事面談

(1) 日時 令和6年6月2日（日） 午前11時から午前11時半まで

(2) 場所 白壁倶楽部（倉吉市）

(3) 面談者 江原道 鄭光烈（チョン・グァンヨル）経済副知事ほか  
鳥取県 亀井副知事ほか

(4) 内容

- ・チョン経済副知事からは、両県道友好交流30周年を迎え、これからは実質的な経済交流ができるような関係作りが必要というコメントがあり、東海市と境港市を結ぶフェリーの正式就航を控え、人の交流と物流輸送による積極的な利用につなげるため両県道で連携していくことを確認した。
- ・併せてチョン経済副知事から、両県道の観光連盟や観光財団がお互いの県道のPRを促進する新たな取組について提案があり、亀井副知事との合意に至った。
- ・亀井副知事が提案した、原州医療機器テクノバレー（江原特別自治道原州市）との医療機器分野における経済交流の更なる発展についても、引き続き両県道が連携協力していくことで意見が一致した。



亀井副知事との面談の様子

※集合写真（左）は左から3番目がチョン経済副知事